

### 森をよむなご

埼玉県北本市立北小学校 六年 寺嶋 優璃

私は、前、ある山へドライブしたことがありますが、たくさん動物がいるかなとワクワクしていたのですが、見つかるのはゴミばかりで、あの白のは動物かな、と思ってよく見ると、コンビニのお弁当が入った白いコンビニのふくらだつた、ということが、何度かありました。動物はゴミの無い所にいるのかな、と思い、あきらめかけていたのですが、帰る時に、二回キツネにあえました。回目のキツネは、めいぐるみのようにかわいい子キツネでした。二回目のキツネは、ちゃんとよれた大人のキツネでした。二ひきのキツネは、どちらとも、ゴミの少ない所にいました。それでも、おかしなゴミなどが、個や二個は落ちていました。キツネは、二ひきとも、めいぐるみのような顔をしていました。また、悲しそうな顔にも見えました。

私は、あの時あったキツネの顔が忘れられません。そして、そのゴミを捨てた人たちが許せません。きつと、ゴミを捨てた人たちは、その山に住む動物たちのことをまったく考えていないと思います。きつと今でも、人が捨てたゴミのせいで、困っている動物がたくさんいると思います。私は、山にかぎらず、自然の中にゴミを捨てる人が、少しでもいいから減り、ゴミのせいでいやな気持ちの動物がいなくなればいいな、と思います。

### 今ぼくに出来ることを

茨城県稲敷市立あずま北小学校 六年 鳥羽 康佑

ぼくの住む稲敷市は、その名の通りに一面田んぼばかりです。

春先田んぼに水が張られると一斉にカエルが鳴き出し、大合唱が夜も続きます。

田植え間もないころは、まだらな苗も徐々に背を伸ばし、夏には一面緑色のじゅうたんになります。風にゆられるところもきれいです。

雨風に耐え、台風にも耐え、秋が近づくと黄金色にそまります。美の重さで稲穂がおしぎをすれば稲刈りの合図です。

新米は、おかずがなくても塩だけで、とてもおいしいです。これからもっとおいしいお米を食べられるように、田んぼとその周りの自然を守っていききたいです。

そのためは、きれいな水を守り育てることが大事です。その水は、山が作り、豊かな山がミネラル豊富な水を作り、川となり海となります。

自然は、かけがえのない大切なものです。この地球に住む皆で守り続けなければなりません。世界はひとつです。めぐりめぐって自分に返ってきます。自分が今出来ることをやればいいのです。

まずは、食事は残さず食べます。ゴミもリサイクルします。庭や山には、花や木を植えます。それが今、ぼくに出来ることです。

この作文を読んでくれた人が、今自分に出来ることをしてくれたら、どんな世界は良くなると思います。緑あふれる自然の中で、豊かな心を持っておいしい作物を食へ続けられるように、今ぼくに出来ることを考え、頑張りたいです。

## 南三陸探検隊報告

寺嶋 優璃



### ミッション① 町を知ろう

○平成17年志津川町と「歌津町」が合併し、現在の「南三陸町」ができました。  
○志津川湾内ではワカウ・ホタテ・サケ・カキ・ホヤなどの養殖漁業がさかんでいます。  
○リアス式海岸なので津波の被害が多い。  
〈感想〉  
1日目に「さんさん商店街」に行きました。東側ゲート付近に、世界に2体しかない「眼のあるモアイ像」がありました。モアイには「未来に生きる」という意味があり「眼のあるモアイ像」には「霊力が宿るので復興を願って贈られたそう。多くの人の希望の像なのだと思います。

### ミッション③ 生活を考える

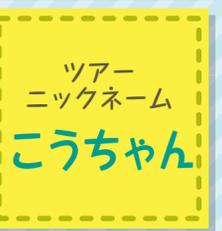
○南三陸町は山にかこまれ、山の恵みがつまな川が志津川湾にそそぐこんでいるので、植物性プランクトンやミネラルが豊富な海です。  
○リアス式海岸が養殖に適しています。  
〈感想〉  
船で沖へ行き、ホタテの養殖棚を見学しました。海の中から養殖棚を引き上げてもらいたくさんのホタテにビックリしました。ホタテは海水を吹き出し泳ぐのでおみに入れたリ、ロープにつなぐそうです。

### ミッション② 海を感じる

○南三陸町の海は、寒流(親潮)と暖流(黒潮)がぶつかり合うおたやかな海です。  
○震災のため荒れはてた海も、3年という時間をかけて復活しました。  
〈感想〉  
シュノーケリングは初めてだったので少しこわかったし、水も冷たかたけど海の中はとてもきれいでした。カヤックはひっくり返らずにこぐことができたし、ウミネコを近くで見られてうれしかったです。

### ミッション④ 森にふれる

○南三陸町を代表する山である田東山は、霊峰として古くから仏教徒の修行の場となっていた。頂上から見下ろすと360度のパノラマ的なすばらしいなごめです。  
○入谷地区には巨石が多くあります。  
〈感想〉  
神行堂山という山へ巨石の所まで登りました。巨石にはすき間があり、そのすき間にはうさぎは、通れぬという言い伝えがあるそうです。私通れてよかったです。



# 南三陸

## 探検新聞

茨城県 稲敷市立 あずま北小学校 6年 鳥羽 康佑

### 町

#### 官城県南三陸町にモアイがある理由

1960年の沖ノ島津波は、遠く離れた南三陸町にも被害をもたらした。「モアイ」とは、イースター島のラパヒナイ語で「未来に生きる」という意味。南三陸の地味な復興の道程を見守る存在になる事を願ってモアイ像が贈られた。



長屋さんに蚕のまゆを見せられた。真白で、とてもキレイな、たのまゆについて調べてみると蚕の成虫が可愛いのでおどろきました。



### 海

### まとめ

南三陸の自然に触れて改めて自然の美しさ、大切さを感じました。海山川全ながつながらいて、そこに住む人達も自然の一部なのだと思います。東日本大震災では海のおそろしさを見せつけられました。それでも海から離れず、海と共に生きて行く人達の強さを現地にきて少し理解出来るような気がします。最後にお世話になった皆様にお礼を言いたいです。ありがとうございました。



○幼生はオタマジャクシのような姿形で泳いでいる。  
○成体は岩などにくっつき植物のような姿になる。  
○ホヤは1日に20の水を吸、たりたりしている。  
○ホヤは主に東北や北海道でよく食べられている。  
○漁師さんによると「ホヤが好きなのは酒のみ」だそうです。  
○ぼくは酒のみになれそうにないのが残念です。

ツアーニックネーム こうちゃん

ツアーニックネーム ゆんりん